

萩の友

第18号

平成29年(2017)3月発行

萩市文化協会
会長/有富 美子
編集
会報編集委員会
委員長/大場 洋

題字/萩市文化協会 斉藤 武男



▲越ヶ浜「巫女の舞」

萩市文化協会総会

6月4日(日) 午後3時から
会場 萩グランドホテル天空

◎アトラクション
みどりかい
三貴会
◎講演
講師 松陰神社名誉宮司
上田 俊成

雑感

会長 有富 美子

昨年の十月末、山口県立萩美術館・浦上記念館主催の「第四回現在形の陶芸萩大賞展」の表彰式に出席しました。

萩大賞には、萩市出身の「黒彩器―相こくさいき―そうー」渋谷英一氏の作品が選ばれ、その作品の素晴らしさに拍手を送りました。

他の受賞者や入選者の出身地を見ると、全国各地から多くの応募があり、この陶芸展の注目度の高さを再認識しました。

それから、式後の講評会に参加し、久しぶりに館内をゆっくり遊歩しました。美術館の中は様々な作品で活気があり「これが陶芸?」と目を見張る作品や「どうやって作ったのか?」と疑問がわく作品など、興味津々、制作者のお話に聞き入っていました。

美術館に行くと、なぜかムソルグスキーの組曲「展覧会の絵」のブромナードが頭を過ることがあります。親友のガルトマンの遺作展を見たムソルグスキーが、魂を揺さぶられて、十枚の絵をモチーフに作曲した作品です。ロシアの民族的な音にあふれ、聞く者の心を驚づかみにする力を持っています。

世に残る名作や名曲は、人々の心を揺り動かす何かすごい力が、そこにあるのだらうと思いを馳せました。

平成29年度 加盟団体主要行事一覧表 (平成29年4月～平成29年12月)

月	日	時間	行事名	場所	団体名
4	7～9	10:00～17:00	第34回臨江書道展	萩市民館小ホール	臨江書道会
	16	10:00～	茜屋出雲流 茜会 中国ブロック大会	山口市市民会館大ホール	茜屋出雲流松喬会
	14～16	10:00～17:00	第40回萩創美会	萩市民館小ホール	萩創美会
5	14	13:00～14:30	杵屋邦寿三味線ライブ	大寧寺	萩三音会
	14	19:00～20:30	杵屋邦寿三味線ライブ	あまぬま屋	萩三音会
	14	10:00～16:30	第5回北浦音楽芸能文化祭	萩市民館大ホール	北浦音楽芸能文化協会
	27～31	9:00～17:00	第84回萩美術協会	萩市民館小ホール	萩美術協会
6	3～5	9:00～17:00	第28回萩女流アート協会	萩市民館小ホール	萩女流アート協会
	3	15:00～	ホタルまつりinやまだ	山田 天神橋付近	山田神楽舞保存会
	10～11	9:00～17:00	いけばな展	旧久保田家住宅	未生流中山文甫会萩支部
7	9	14:00～16:00	合唱講習会	萩西中学校	萩音楽協会
	21～23	9:00～17:00	第48回啓心書道展	萩市民館小ホール	啓心書道展
8	未定	8:30～15:30	新萩画学校	萩市総合福祉センター	萩美術協会
	3	11:00～24:00	住吉神社 お船巡行	萩市内	お船謡保存会
	8		厳島神社管弦祭「巫女の舞」	越ヶ浜 夕風湾	越ヶ浜郷土芸能保存会
	11～14	9:00～17:00	シャッタークラブだいたい写真展	萩市民館第一会議室	シャッタークラブだいたい
	12	未定	萩吹奏楽団定期演奏会	萩市民館大ホール	萩吹奏楽団
9	17～29	10:00～18:00	森川翠水展	萩市民館小ホール	SUMMER ORANGES
	19	未定	京都大学交響楽団コンサート	萩市民館大ホール	萩市
	未定	9:30～16:30	萩美術協会実技講習会	萩市中央公民館	萩美術協会
	未定	9:00～20:00	木版画展	益田市キヌヤショッピングセンター2階催事場	多磨WOOD PRINT
10	24	13:00～16:00	茶筌供養祭	萩市民館大ホール	茶道裏千家淡交会萩支部
	28～29	13:00～16:00	萩市老人クラブ発表会	萩市民館大ホール	
	15	14:00～	第34回萩・阿武女声コーラスの集い	萩市民館大ホール	萩・阿武女声コーラスの集い
11	15	12:00～15:00	くによの会	渡辺蒿蔵旧宅	萩三音会
	21～22		池坊萩支部花展	旧萩藩・明倫館跡、有備館	池坊萩支部
	3	12:30～16:30	第25回萩市民音楽祭	萩市民館大ホール	萩音楽協会
12	15	未定	中央公民館舞台発表会	萩市民館大ホール	中央公民館
	23	9:30～15:00	萩市合同吟剣詩舞道大会	萩市民館大ホール	萩市吟剣詩舞連盟
	24～26	9:00～17:00	中央公民館作品発表会	萩市民館小ホール	中央公民館
	2～3	未定	萩中央高齢者作品発表会	萩市民館小ホール	中央公民館
12	2～26	10:00～15:00	なないろのクリスマス	ふたば園 なないろ	ステンドグラス教室ゆとりろ
	10	10:00～16:30	大津あきら顕彰「歌謡フェスティバル」	ルネッサながと	北浦音楽芸能文化協会
	未定	未定	萩吹奏楽団クリスマスコンサート	サンライフ萩	萩吹奏楽団

※各団体から報告のあったもののみを掲載

◆事務局からのお知らせ 総会への出席をお願いします。

文化協会の総会を、6月に開催します。
アトラクションや講演会もあり、盛りだくさんの総会です。皆様のご参加をお待ちしています。
特に団体会員様には、会員の皆様にご周知いただき、お誘い合せの上、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

◆広報誌編集委員会

委員長 大場 洋 (萩川柳会)
委員 大場 洋子 (萩阿武長門合同短歌会)
阿武 紀香 (華道池坊萩支部)
土田 千浩 (委員長推薦)
山根 清人 (萩美術協会)
石橋 慶子 (萩音楽協会)
河野 健雄 (萩花鳥句会)



編集後記

▼有富会長の音楽家としての「雑感」を読んで、「展覧会の絵」を聞き直してみたい。音楽のセンスに乏しい私にも、なぜか少し、より深く曲を味わえたように思えた▼伝統芸能インタビュー訪問では、いつも感動を受け、勉強になる。今号の越ヶ浜巫女の舞では地域ぐるみで取り組みが進められていて、素晴らしいと思えた。伝統をしっかりと守り、次世代へ継いでゆくご努力に頭が下がる▼間もなく彼岸。寒さなお厳しいが、今年のインフルエンザは峠を越したとか。季節の変わり目は体調を崩し易い。ご自愛を。

(広報委員長 大場)

原稿募集!

会報「萩の友」は、会員の交流の場です。皆さんからの情報を募集しております。どんどんお寄せください。

伝統芸能訪問シリーズ6 越ヶ浜「巫女の舞」

萩市の伝統芸能の一つである越ヶ浜「巫女の舞」について、越ヶ浜郷土芸能保存会の木村靖枝代表にお話を伺いました。

○当初の舞は違うものだったとか…
一番最初は七恵比寿という舞を踊っていました。住吉神社に行き、萩城へ上がって舞った後、巫女を船に乗せて菊ヶ浜まで運んでいたのです。○舞にはこういった意味があるので。

昔は、いつ台風などの災難に見舞われるかわからなかったため、海で多くの漁師が亡くなっていました。

そこで、巫女を神様に見立て、舞を奉納し、祈願したということです。



▲木村靖枝代表

○何人で舞うのですか。

四人一組の踊りです。ですから、四人、八人または十二人いないと巫女の舞はできません。

○舞い手は何歳くらいですか。

初めは小学二、四年生までの子供だけでしたが、少子化もあり、年齢の幅を広げ、今では保育園・小学六年生まで声をかけています。

○どなたが舞の指導をしているのですか。

越ヶ浜郷土芸能保存会会員に芸能家という舞の指導者がいます。その中で、現在は主に宇田信子さんが指導をされています。他の芸能家の方で、巫女の舞の経験がある方にも指導をお願いしています。

○お囃子はどのように演奏されているのですか。

太鼓と笛がありますが、笛は吹くのが難しく、後継者がいないため、今は演奏を太鼓だけにしています。笛はテープに録って流しています。お囃子には歌があるのですが、四十六の舞の口上があります。

○口上のセリフはどんなものですか。

四十六の口上のセリフは、神楽と内容はほとんど同じです。越ヶ浜の神楽は、島根県から伝わってきたと思います。

○いつ、どこで舞われるのですか。

安芸の厳島神社では、毎年旧暦六

月十七日の夜に、管弦祭が催されています。この日に合わせて、越ヶ浜地区では、毎年「巫女の舞」を、明神池のそばにある厳島神社で奉納しています。他には、椿まつり、春のお祭りや参観日、敬老会の日等に、漁協の広場等で披露しています。

○舞台となる越ヶ浜の厳島神社はいづろ建てられたものですか。

萩藩二代目藩主毛利綱広の時と言われています。安芸の厳島神社から勧請して、越ヶ浜にお宮が建てられました。

○市の無形民俗文化財に指定されたのはいつですか。

昭和四十六年三月二十六日に萩市無形民俗文化財に指定されました。

○保存会はどういった体制で運営されているのですか。

一区六区の各町内会長、運営委員などで構成され、持ち回りで運営しています。役割は、お祭りの運営、舞の指導、料理、文化財団の補助金申請等です。

○保存会が立ち上がる前は、どうしていたのですか。

それぞれの町内会長が中心になり、子供を誘って行なっていました。が、それではまとまりが無いので、昭和四十七年頃に越ヶ浜郷土芸能保存会が立ち上げられました。

○これからも郷土芸能を保存してい

くには何が大切でしょうか。

私達は巫女の舞を絶やさないという信念を持って、お互い協力し合っています。舞の衣装に一番お金がかかるので、そういったものは、保存会で準備し、皆が気軽に参加できるようにしています。

私は、皆がお祭りに参加し易いようにするのが、保存会の大事な役割だと思っています。

――結び――

全国で、郷土芸能が後継者問題等の維持、継続に悩まれている中、越ヶ浜の方達の伝統ある郷土芸能を絶やすまいとする取り組み、ご努力に感謝しました。

地元の方が一体となって運営することによって、継承していく仕組みがしっかりと構築されていることに、大いなる示唆を与えられました。

お答えいただいた方
越ヶ浜郷土芸能保存会

代表 木村 靖枝 様

訪問者 編集委員長 大場 洋
編集委員 土田 千浩

事務局 阿武 紀香
武安 和孝
中野 翔太

萩・明倫学舎 オープン

萩藩校明倫館の跡地に立ち、全国屈指の規模を誇り、今日まで授業が行なわれていた旧明倫小学校校舎が、新たな萩の観光起点「萩・明倫学舎」として平成二十九年三月四日オープンしました。

本館では、観光インフォメーションセンターと萩藩校明倫館から旧明倫小学校までの歴史、及びジオパークを学ぶことができ、二号館では、萩の五資産を含む世界遺産、幕末の歴史に関連した幕末ミュージアム（小川コレクション）が紹介されています。

●場 所 萩市江向六百二番地

●開館時間 午前九時～午後五時
（飲食スペースは午前十一時～午後九時まで）

●入場料 本館無料／二号館
大人三百円、高校生二百円、
小・中学生百円（団体二割引）



山口県文化功労賞受賞

おめでとーございます

二〇一六年十一月十五日、陶芸家の中村眞一さんと萩美術協会が、山口県文化功労賞を受賞されました。そこで、受賞者の方達の声をいただきました。

陶芸家 中村 眞一さん

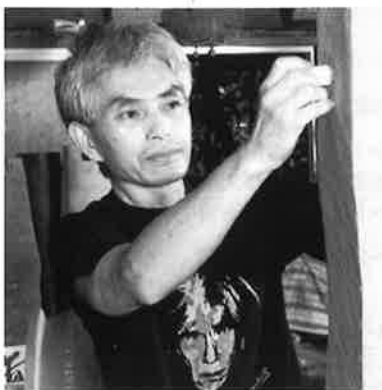
一九七七年に日本美術展覧会に初入選以来、各地で個展を開催しました。

そして、二〇〇〇年にバリの日本文化会館で「萩焼四百年展」に作品を出品。様々な展示の中に私の作品を見た時は、感激しました。

萩焼の世界に入って、四十年以上の歳月が経ち、食器、茶陶、創作陶器などの作品を作ってきました。しかし、満足な作品がなかなか出来ず、作ることの難しさを痛感しています。

萩焼の旧来のイメージに固執せず、自由な発想で、独創性に溢れた作品の制作に、日々努力、精進していきたいと思っています。

現在、萩陶芸家協会の理事、及び、萩美術協会副会長をしていますので、これを機に、今後とも地域文化の振興に、努めていきたいと思っています。



▲製作中の中村さん

萩美術協会

本協会は昭和八年に田総百山をはじめとする六人によって創設されて以来、「会員相互の研究と郷土の美術の普及向上を図ること」を目的に、八十三年間、自主運営してきました。

毎年五月に実施されている萩美術協会展では、萩市で創作活動をされている絵画、工芸、書、写真、彫刻の五部門の作家が、一堂に作品を展示し、広く地域の鑑賞の場を提供しています。

また、小学生を対象とした新萩画学校や、裸婦モデルを招いての実技講習会をこれからも継続していき、若手の作家の発掘や育成に力を入れ

